

## 新たな情報通信技術戦略の策定に関する意見

1. 個人／団体の別：個人
2. 氏名／団体名：非公開
3. 連絡先：非公開
4. ご意見：

1) 重点施策の中で特に優先的に取り組むべきものは何か。

特に優先すべき施策は、③の電子行政の共通基盤として、官民サービスに汎用可能な国民ID制度の整備と、④の電子行政推進の中の行政の業務改革と情報システムの集約化、そして⑥全国どこでも過去の診療情報に基づいた医療を受けられるようにするとともに、個人が健康管理に取り組める環境を実現していくの3つです。特に、公的ICカードの整備・合理化が重要であり、住基ネットのICカード1枚にて、全公共サービスを受けられるように合理化すべきです。

2) 各重点施策についてそれぞれどのような目標・スケジュールを設定して取り組むべきか。

日新月歩で進展、発展しているIT産業の分野では、目標やスケジュールの明確化は難しいが、日本政府としては、まず「国民本位の電子行政の実現」に重点を置き、今後5年間で一定の成果を出していくべきと考えます。特に公的ICカードの整備・合理化に関しては、早急に国会レベルでの議論と法制化を進めて、2012年ごろには統合化したICカードの基本方針を決定していくべきです。

「地域の絆の再生」の各施策については、公的ICカード体制の確立を前提に、2018年ごろまでに情報システムの制度確立などの成果を実現できるように長期スケジュールを検討していけばよいと考えます。特に医療情報の個人情報保護ルールに関して、より柔軟な医療現場での利用と活用が可能なように、医療分野のコンセンサスを取りながら制度を改善する必要があると考えます。

「新市場の創出と国際展開」に関しては、民間がすでに激しい競争を繰り広げている分野であり、政府が施策としてすすめるのはインフラ分野やITの教育などに限定される分野と考えられます。よって明確な目標設定・スケジュール作成よりも、地道な支援・推進活動をメインにして、発生経費は抑えていくべきと考えます。

3) 各重点施策の推進にあたって取り組むべき課題、留意すべき点は何か。

ITシステムの構築やその維持管理には、多額の投資と経費が必要であるので、利用分野の業務を分析して効率化と標準化(均一化)をすすめてから、実際のIT化を進めるべきです。

特に政府内でいつも問題となる、縦割り行政を無くして、各省庁間の垣根を低くおさえることが重要です。

#### 4)その他

国家レベルのITシステムの構築については、多額の設備投資が必要です。縦割り行政を見直して、二重投資や二重のシステム構築が発生しないように、全体を把握しながら効率的な統制して税金の有効投資をお願いしたい。

以上